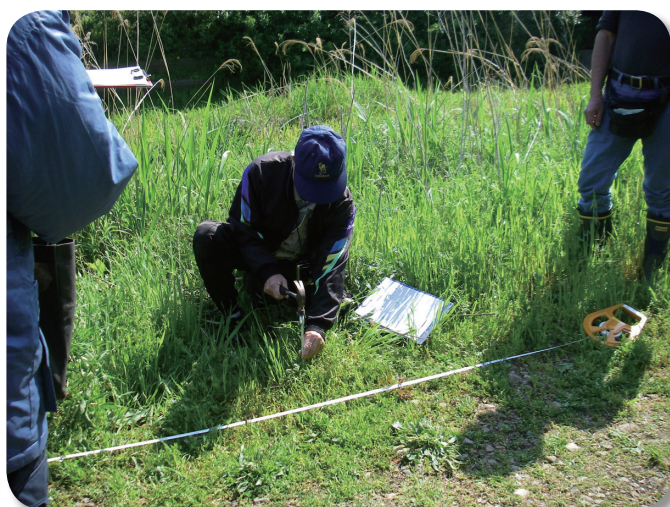


生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川

第6期野川流域連絡会 生きものの分科会活動記録

生きもの観察会
野川の草刈り実験について

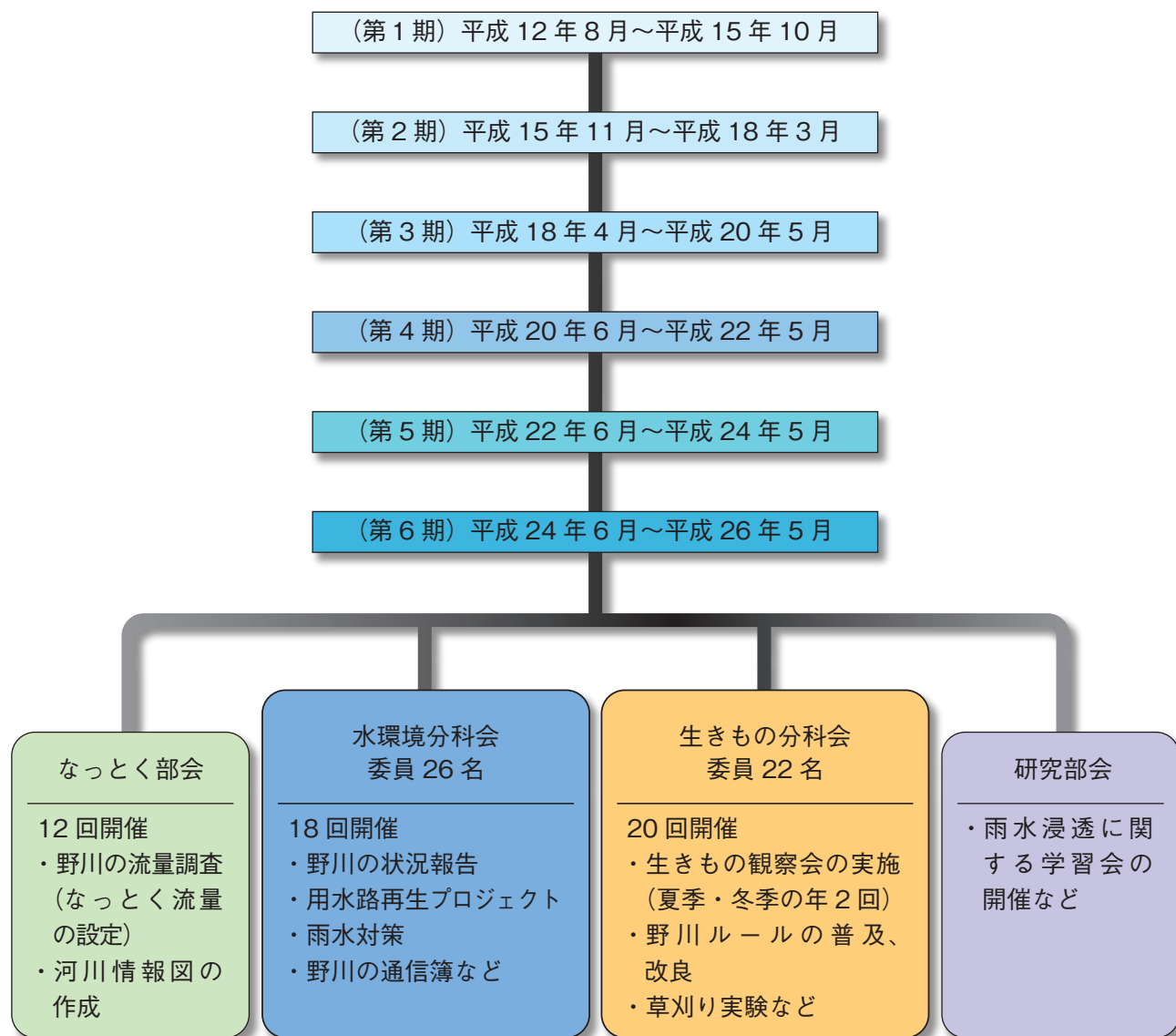


平成26年7月
野川流域連絡会

野川流域連絡会について

「野川流域連絡会」は、野川が“生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川”となることをめざして、流域住民、野川に関心を持って活動している団体の代表者、都及び流域自治体の職員等が、情報や意見の交換、提案等を行うことを目的に、平成 12 年 8 月に設置されています。

平成 24 年 6 月から第 6 期目がスタートし、現在、都民委員 18 名・団体代表委員 10 名、行政委員 20 名、計 48 名が、水環境分科会と生き物分科会を中心に活動しています。第 6 期は各分科会の活動報告などが行われる全体会が 3 回開催されました。



第 6 期第 1 回全体会のようす



第 6 期第 2 回全体会のようす



第 6 期第 3 回全体会のようす

生きものの分科会について

生きものの分科会の活動の目的は大きく二つあり、一つは野川ルールについてです。これは1期、2期生で作った野川ルールを普及するということと、改善していくということです。もう一つは、冬、夏2回の生きものの観察会を開催を通し、水生生物を継続して観察し、子どもたちを集めて子どもたちに野川の貴重ないいところを楽しみながら理解してもらうという目的を持っています。

第6期は、分科会を5回開催し、生きものの観察会開催に向けての準備等についてと野川の草刈りについて話し合いました。生きものの観察会は、夏季に2回、冬季に2回開催し、採取した生きもののデータを蓄積しています。

また、野川ルールの中で、草刈りについてという項目がありますが、地域の人たちの草刈りに対する苦情・要望が非常に多く、また多様性に富んでいて、難しいので改善するために、草刈り実験を実施し、検証するために今期は草刈り実験を6回行いました。



第6期第7回生きものの分科会のようす

第6期生きものの分科会の活動状況

開催年月日	活動名称	活動内容
平成24年7月23日	第1回生きものの分科会	夏季・生きものの観察会の開催について、野川の草刈について
平成24年8月5日	夏季「野川・生きものの観察会」	ほたる川の補修、生きものの観察
平成24年9月3日	第2回生きものの分科会	夏季・生きものの観察会の開催について、野川の草刈について
平成24年12月3日	第3回生きものの分科会	冬季・生きものの観察会の開催について、野川の草刈について
平成25年1月20日	冬季「野川・生きものの観察会」	ほたる川の補修、生きものの観察
平成25年2月4日	第4回生きものの分科会	野川の草刈りについて、講演「野川の植生の望ましい姿をどう考えるか」
平成25年3月4日	第5回生きものの分科会	野川の草刈りについて、全体会の開催について
平成24年10月15日	草刈り現地調査（現地視察）	草刈り実施区間の調査
平成25年4月22日	草刈り現地調査（対象地選定）	草刈り実験調査区間の選定、草刈りの方法について
平成25年5月13日	第1回草刈り実験	A・G区画の草刈り
平成25年6月10日	第2回草刈り実験	B・H区画の草刈り
平成25年7月8日	第3回草刈り実験	C・G区画の草刈り
平成25年7月8日	第6回生きものの分科会	夏季・生きものの観察会の開催について、野川の草刈について
平成25年8月4日	夏季「野川・生きものの観察会」	ほたる川の補修、生きものの観察
平成25年8月12日	第4回草刈り実験	D・H区画の草刈り
平成25年9月9日	第5回草刈り実験	E区画の草刈り
平成25年10月7日	第6回草刈り実験	F区画の草刈り
平成25年12月2日	第7回生きものの分科会	冬季・生きものの観察会の開催について、野川の草刈について
平成26年1月19日	冬季「野川・生きものの観察会」	ほたる川の補修、生きものの観察
平成26年2月24日	第8回生きものの分科会	冬季・生きものの観察会の開催結果について、全体会の開催について

野川の生きものの観察会について

みんなで作った「ほたる川」と「ひょうたん川」には、多くの生き物が住んでいます。毎年夏と冬、定期的に、ほたる川、ひょうたん川、野川の3か所で生き物観察会を開催し、そこで採取した生きものの記録をとっています。

この観察会には、市民のみなさんも参加し、すでに8年も続いています。観察会では、生きものの観察だけではなく、野川ルールの説明や、ほたる川の補修作業も行っています。



野川ルールの説明 (H26.1.19)

開催年月日	参加人数		
	一般	委員	合計
平成 18 年 8 月 12 日	3	18	21
平成 19 年 1 月 21 日	15	13	28
平成 19 年 8 月 5 日	42	9	51
平成 20 年 1 月 20 日	14	9	23
平成 20 年 8 月 3 日	30	11	41
平成 21 年 1 月 18 日	17	10	27
平成 21 年 8 月 9 日	29	9	38
平成 22 年 1 月 24 日	10	8	18
平成 22 年 8 月 8 日	28	18	46
平成 23 年 1 月 23 日	12	16	28
平成 23 年 8 月 7 日	31	17	48
平成 24 年 1 月 22 日	雨天のため中止		
平成 24 年 8 月 5 日	42	18	60
平成 25 年 1 月 20 日	26	13	39
平成 25 年 8 月 5 日	64	17	81
平成 26 年 1 月 19 日	37	18	55



ほたる川補修前の準備運動 (H26.1.19)



ほたる川補修 (H26.1.19)



水生生物の採取 (H26.1.19)



採取した生物の観察 (H26.1.19)

採取した生物は、川ごとに環境調査票に記入します (H26.1.19)

野川 環境調査票

調査年月日 : 平成 26 年 1 月 19 日
調査者氏名 : 平井 正風

環境の状況

項目		上流側 (はたる川の橋)	下流側 (ひょうたん川の橋)	備考
野川	水深 (cm)	22	14	草刈後
	流速 (cm/sec)	15.4	12.5	
	水温 (℃)	6	9.5	
野川本川の状況		コサギが飛んでいる、草刈後		

確認生物（野川本川）

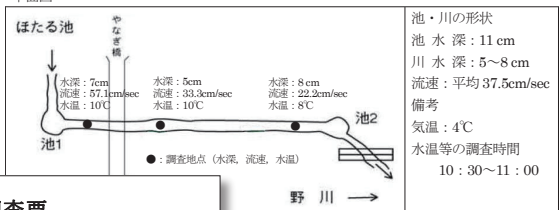
生物名	個体数	
	上流側 (はたる川)	下流側 (ひょうたん)
コイ		
オイカワ		
メダカ		
タモロコ		
アメリカザリガニ		
ミナミヌマエビ		
カワニナ		
シジミ属		

毎年、水生昆虫や小さな水生生物が確認されているが
ガムシやユスリカ（幼虫）は、目視で確認し、パケツ
ってしまったようだ。

ほたる川 環境調査票

調査年月日 : 平成 26 年 1 月 19 日
調査者氏名 : 平井 正風

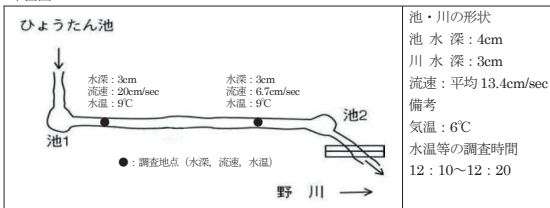
平面图



ひょうたん川 環境調査票

調査年月日 : 平成 26 年 1 月 19 日
調査者氏名 : 平井 正風

平面図



環境の状況

項目	植生、水量、流れ	備考
池、小川の周辺状況	草刈後、イネ科 Sp10cm 点在	
池の状況	十分な水量がある	
ひょうたん川状況	底に落ち葉が堆積している	250～300ml/s 湧き出している

確認生物

[illegible]

採取して確認した生物は、川ごとにデータをまとめています (H26.1.19)

生きもの観察会「出現種経年変化一覧表（環境調査票より作成）」

[illegible]

野川の草刈り実験について

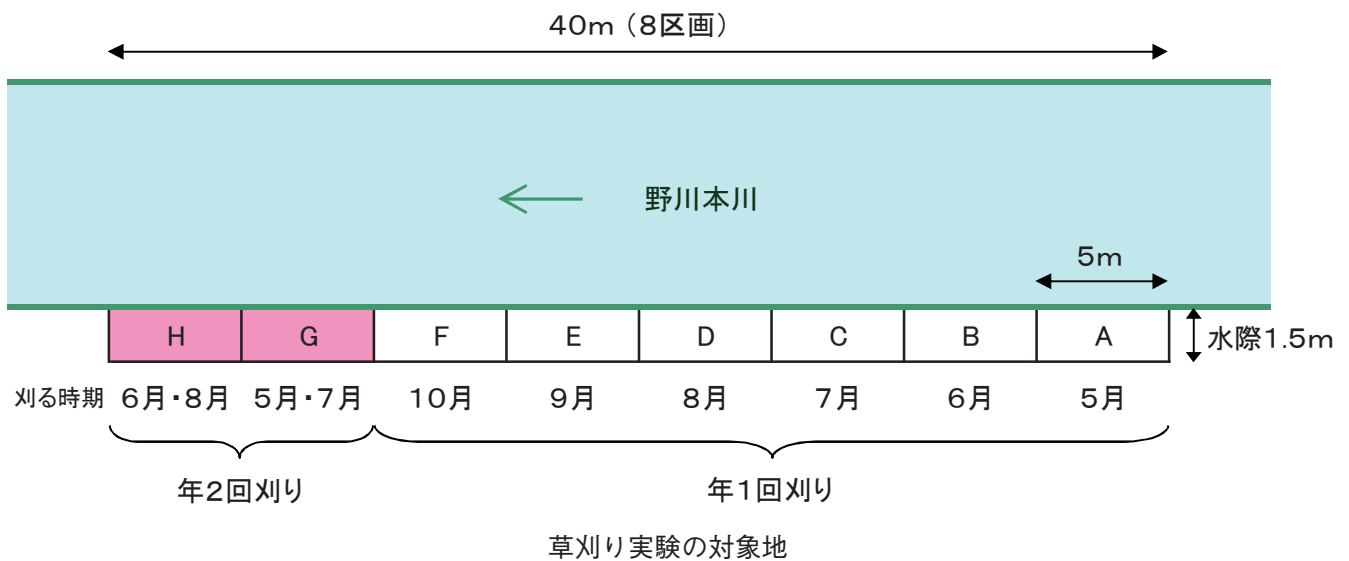
野川の草刈りについては、草をどんどん刈って欲しいというものから、全然刈る必要はない、自然のままの方が良いというものまで、様々な意見が寄せられます。

野川流域連絡会ではこの様々な意見がある野川の草刈りについて、安心・安全の面から、生きものの面から、景観の面からなど、色々な考え方から検討を行っており、第5期では、野川の草刈の問題について、野川流域連絡会としての合意形成に基づく方向性をはかるために討議を行い、第6期の前期では、実際に草刈りの現場を調査し、草刈り実験を行う場所を選定しました。

後期では、5月から選定した場所で区画を決めて毎月1回草刈りを行い、10月まで行いました。草刈り実験によって、草刈りの時期の違いによる植生の変化や優先種の違いなど、草刈りの方法によって、野川に望ましい植生のあり方を管理できる知見が得られました。



草刈り後の小金橋付近（HH24.10.15）



草刈り実験対象地 40m の計測（HH25.4.22）



川からの距離を計測（HH25.4.22）

野川の草刈り実験実施概要（小金井市小金橋）

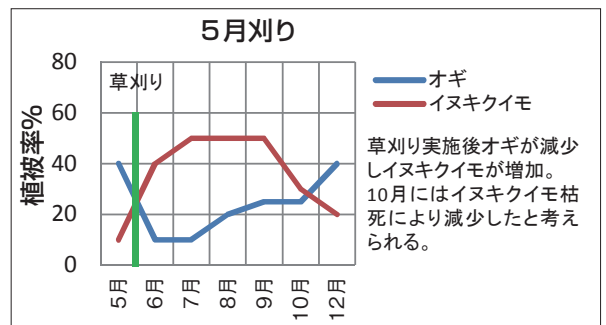
第1回：平成25年5月13日（月）	14：00～	参加者：14名	A・G区画
第2回：平成25年6月10日（月）	14：00～	参加者：9名	B・H区画
第3回：平成25年7月8日（月）	15：30～	参加者：8名	C・G区画
第4回：平成25年8月12日（月）	16：00～	参加者：8名	D・H区画
第5回：平成25年9月9日（月）	15：00～	参加者：9名	E区画
第6回：平成25年10月7日（月）	15：30～	参加者：9名	F区画



草刈り実験のようす

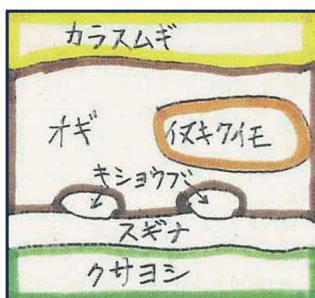
代表的な例として、5月に草刈りを行ったA区画の植被率と平均草丈の変化を下图に示します。

この植被率と平均草丈の変化については、このほかにB～H区画まで調査して、記録に残しており、今後の草刈り方法に役立てたいと考えています。



A区画の変化

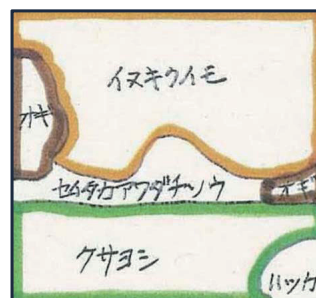
（5月）平均草丈：110cm



（6月）平均草丈：45cm



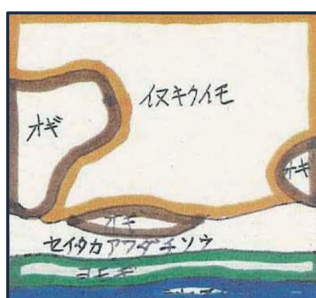
（7月）平均草丈：60cm



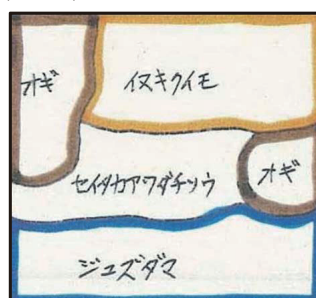
（8月）平均草丈：110cm



（9月）平均草丈：100cm



（10月）平均草丈：100cm



（12月）平均草丈：130cm



ホームページの紹介

野川流域連絡会では、ホームページでも活動の経緯の情報発信を行っています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/05/nogawa-title.htm>

東京都建設局では、都内の河川で開いている流域連絡会の活動をホームページで紹介しています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/index.html>

野川流域連絡会

生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川



【谷戸橋下流 狛江市】



【最上流部 国分寺市】

野川は、国分寺市東恋ヶ窪を源とし、武蔵野台地の端部、国分寺崖線に沿って東南の方向に流れ、小金井市、三鷹市、調布市を貫流し、狛江市東野川で入間川を、世田谷区鎌田で仙川を合流して、世田谷区玉川で多摩川に合流する、延長20.23km、流域面積69.6平方キロメートルの一級河川です。
水辺に近づきやすい川づくりを基本に、川沿いの武蔵野公園や野川公園と一体的に整備するなど、緑豊かな自然環境をつくりだしています。都市を流れる河川の中では、四季折々の自然が息づくおいしい川として多くの人々に親しまれています。

「野川流域連絡会」は平成12年8月30日に設置され、現在第5期目として活動しています。委員（公募による都民委員と団体委員30名及び行政委員20名の併せて50名）が互いの情報を共有しながら、意見交換、提案、勉強会、自然観察会などを行っています。

暖かくなりました。東京の川へおでかけ下さい。[てくてくマップ野川はこちら](#)（←クリック）

みんなで楽しめる野川であるために「野川ルール」を考えました。[野川ルールのページへ](#)（←クリック）

問合せ先

東京都建設局 北多摩南部建設事務所 工事第二課 工務係

住所 〒183-0006 東京都府中市緑町 1-27-1

電話 042-330-1845

FAX 042-369-3890

e-mail s0200212@section.metro.tokyo.jp